

カリキュラム作成の手引き

架け橋期のカリキュラム（〇〇地区）

あきらめずにがんばる子

前橋市の目指す子供像、まえばし学校教育充実指針、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿、子供の実態を踏まえ、架け橋期を通してどのような子供を育てたいかを地区で考え、設定します

【見本】
〔共通シート〕

一般的に
この年齢・時期に見られる
姿を示しています

各期の当初の姿を書きます
(この期の計画の基になる)

「大切にしたい経験」は
各地区ブロックの実態に
合わせて加除・修正します

「ねらい」を達成するための
支援の工夫を「環境の構成」
と「先生の援助」に分けて書
きます

修了時に見られる幼児の姿を
示します。
「修了時の姿(例)」を参考に
して地区ブロック内で共通
に見られる幼児の姿を書きま
しょう。

前橋市の 目指す子供像	【 多様な人と協働しながら主体的・創造的に活動する子供 】			
まえばし 教育充実指針 まえばし幼児教育充実指針（めぶく） 1. 外で遊ぶ・・・自分の体を自由に動かす。体を使って遊ぶとする。 2. 友達と関わる・・・人という喜びを感じ、様々な思いのやりとりをする。友達と関わりながら、あきらめずに物事に取り組む。 3. 自然に触れる・・・自然に触れて大きさや不思議さなどを感じ、好奇心や探究心をもつ。身近な動植物を命あるものとして大切に關わる。 4. 道具を使う・・・身近な道具に自分で関わり、試したり考えたりして探究する。感じたり考えたりしたことを思いのままに工夫して作ってみる。 5. 食べる・・・おなかをすかせて、栄養バランスのよい食べ物や様々な食材をよくかんで食べる。誰かと一緒に食事することを楽しみ必要な基本的習慣やマナーを身に付ける。	まえばし学校教育充実指針 ①個を伸ばす・・・個性や感性を伸ばし、主体的に学ぶ子 ②認め合う・・・自分も他の人も大切にし、支え合って生きる子 ③創り出す・・・他の人と協働して、よりよいものを創り上げる子 ④未来へつなぐ・・・夢をもち、たくましく生きる子			
期	5歳児（1月～3月）	修了時	1年生（4月～5月上旬）	1年生（5月中旬～7月）
発達の様相	・共通の目的や課題に向かって、自分の力を発揮しながら意欲的に取り組むようになる時期。 ・小学校入学への期待や不安の気持ちをもつようになる時期。	【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】 1.健康な心と体 2.自立心 3.協同性 4.道徳性・規範意識の芽生え 5.社会生活との関わり 6.思考力の芽生え 7.自然との関わり・生命尊重 8.数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 9.言葉による伝え合い 10.豊かな感性と表現 ・ドッジボールやサッカーなどの遊びの中で、自分たちでルールを考えたり、場を工夫したりして進めていく姿が見られる。また、ボールの扱いを小さい子に教える優しい面も見られる。 ・自分なりに課題をもって、製作に取り組んでいる。見通しをもって、時間を意識しながら生活している。 ・こま回しやなわとびなどをするとき、自分なりのめあてをもって取り組む姿が見られる。できるまで頑張ろうとしたり、友達の姿に刺激を受けて挑戦しようとしていたりしている。また、友達同士で励まし合ったり、喜び合ったり、コツを伝え合ったりする姿も見られる。 ・給食の配膳を自分たちで行ったり、友達の要望を聞きながら量を調節し盛り付けをしたりしている。その際、多い・少ないといった比較する言葉を使う姿も見られる。 ・自分のことは自分でできるようになっている。 ・一日の振り返りをするとき、学級全体の中で、理由や詳しい内容を伝えようとする姿が見られる。 ・カルタ取りやなわとびなどの遊びをきっかけにして、数えたり、数を表に書こうとしていたりしている。また、折り紙を折る回数やできた形、空き箱の大きさや形、長さにも気付いてきている。自分の名前前の文字にも興味をもっている。 ・修了の喜びと寂しさ、小学校への期待と不安など、多様な感情に揺れながらも、周りの人に支えられながら自信をもって行動しようとしている。	・学校生活への期待や新たな環境への不安を感じる時期。 ・担任の教師への親しみをもち、新たな友達との人間関係が形成される時期。	・学校生活に慣れ、生活の見通しをもつ時期。 ・交友関係が広がり、様々な友達と関わりながら学んだり、遊んだりする時期。
幼児・児童の姿	※1月当初の幼児の姿 ・今まで経験したり関わったりした場や道具、材料などを活かして自分たちの遊びを生み出している。 ・友達の得意な面やよさに気付き、受け止め合う姿が見られる。 ・学級全体で活動する中で仲間との連帯感を感じながら自分の力を発揮する姿が見られる。 ・当番活動や生活に必要な準備、片付けなどを友達と一緒にしている。		※4月当初の予想される児童の姿 ・学校生活への期待もあるが、緊張感や不安が高く、担任に甘える姿も見られる。 ・先生や新しい友達に関心をもち関わろうとするが、自分の思いをうまく伝えられないこともある。 ・初めて行う勉強や学校のルールに早く慣れたいと、自分なりに頑張る姿が見られる。	※5月当初の児童の姿 ・学校生活に慣れてきて、時間割が分かり、見通しをもって行動している。 ・休み時間に友達と誘い合い、一緒に遊んでいる。 ・勉強に関心をもち、分からないことを先生や友達に聞く姿が見られる。
ねらい	キーワードは「自信」「期待」 ○クラスのみなどと一緒に考えたり工夫したりして課題を乗り越え、達成感や満足感を味わうようになる。 ○同じ目的をもつ友達や学級の友達と相談しながら物事をやり遂げるようになる。		キーワードは「安心」「見通し」 ○新しい先生や友達が好きになり、明日も学校へ行きたいと思うようになる。 ○学校生活の流れを知り、幼児期の経験を生かしながら生活しようとする。 ○困ったことやしてほしいこと、思っていることを言葉で伝えようとする。	キーワードは「自立」 ○見通しをもって生活できるようになる。 ○気付いたり発見したりしたことを友達と伝え合うようになる。 ○友達と一緒にのびのびと生活するようになる。 ○係や当番活動に意欲をもって取り組むようになる。
大切にしたい経験	・自分なりのめあてをもって課題に積極的に取り組み、自信をもつ。 ・友達と認め合ったり相談したりしながら、一緒に遊びを進める。 ・修了式（卒園式）や小学校入学の意味がわかり、自分の成長を喜んだり、入学への期待をもったりする。		・クラスの友達に興味をもち自分の好きな遊びを通して交流する。 ・学校の様子や生活の仕方が分かる。 ・幼稚園で経験したことを学習や生活に生かせることに気付く。 ・安心して自分の思いを表現したり、友達の思いを聞いたりする。	・学校生活の見通しをもって、片付けや次の授業の準備を自分から行う。 ・自分の思いや考えを友達に伝えたり、分からないことを友達に聞きながら解決したりする。 ・いろいろな友達と関わり、新たな交友関係を築く。 ・係や当番の仕事内容が分かり、役割を果たす達成感を味わう。
環境の構成 (場や空間、物、 時間等)	・二学期に遊んだ集団遊びを自分たちで始められるように、遊具や用具を用意したり、自由に遊べる場を設定したりする。 ・自分自身の取組やめあてが見て分かるようにカードを用意する。 ・自分の成長や家族への感謝の気持ちもてるように、修了アルバム製作などを行う。 ・入学への期待もてるように、学校見学に出かけたり、楽しみに思えるような写真を掲示したりする。		・楽しく安心して小学校生活を送れそうという見通しもてるように、朝の時間から1時間目までゆとりのある時間を設定する。 ・安心感がもてるように、児童が興味のある絵本や折り紙などを用意したり、園で慣れ親しんだ歌や手遊び、読み聞かせ等を取り入れたりする。 ・生活の流れや学習の見通しもてるように、写真やカード等でやるべきことを視覚化したり、実際に使う教材を掲示したりする。	・生活の流れや学習の見通しをもてるように、具体物を用意したり、やるべきことを視覚化したりする。 ・友達同士で相談したり、解決したりできるように、ペアワークやグループワーク等の場の設定をしたり、思いを伝え合う時間を十分確保したりする。 ・学級の仕事をやる場面を設定し、充実感や達成感を味わえるようにする。
先生の援助	・自分たちでできることを幼児同士で行う姿を認め、自信もてるような声掛けをする。 ・挑戦する意欲を高めたり自信をもったりできるように、取り組んでいる姿を称賛したり、悔しい思いを受け止めたりする。 ・入学への期待もてるよう、小学校の話をしたり、不安や緊張感に寄り添ったりする。		・児童の緊張や不安に寄り添うとともに、緊張や不安からくる行動を受け止めるようにする。 ・先生が自分のことを知っているという安心感がもてるように、一人一人の名前で呼ぶように努める。 ・初めての学校、慣れない環境で不安になると思うので、こどもが嫌な思いをしないように配慮し、こまめに声をかける。 「分からない時は、聞いてくださいね。」 ・幼稚園での経験を聞きながら学校での生活の仕方を伝えていく。 「幼稚園では、どのように片付けをしていましたか。」	・自信をもって行動できるように、一人一人のがんばりやよさを認める。 ・教師も一緒に活動に入り、一緒に考えたり、時には、児童の思いを代弁したりして、相互理解を促す。 ・自分の思いや考えを失敗や間違いを恐れずに伝えやすいように、児童の意見を受け止める雰囲気作りをする。
主な行事や活動	・小学校見学 ・卒園製作		・入学式 ・一年生を迎える会	